

○12月分要約

- ・行政区域が大きくなると政策が画一的になり、地域に即した、きめ細かでバランスのとれた行政の実施は難しくなると思う。地域また少数意見にも、十分耳を傾けて新市全体の発展を願う。(美里村)
- ・地域審議会の会議のあり方について、住民の意見を施策に反映するために開催されるものであるのに、議長の判断で公開しないことができるかとあるが公開すべきである。(津市)
- ・本庁、各支所で取扱う業務を事前にお知らせしてほしい。男女共同参画のボランティア奉仕について、情報を活発にしてほしい。(津市)
- ・学校教育について、校内では全面禁煙としていただきたい。(久居市)
- ・合併期日が18年1月1日は早すぎますので、1年以上延長してください。(河芸町)
- ・住民が住み良い町になる事と、一人ひとり助け合って、大きな新市が出来ることを願っている。(津市)
- ・合併して何のメリットがあるのか良くわからない。(河芸町)
- ・時代背景と伝統を重んじた行政が大切である。より発展向上が望めるような政策をお願いする。(美里村)
- ・新市に移行しても、現市町村で実施している事業については、内容を審査の上、十分住民の意向がかなうようにしてほしい。広域合併であるため地域の特性を活かした街づくりを願いたい(一志町)
- ・合併後のメリット・デメリットを分かりやすくまとめて公開してほしい。(津市)
- ・今よりも手続きに時間がかかることのないようにしてほしい。合併してよかったと思うことをアピールしてほしい。(津市)
- ・新市憲章の作成。住民サービスの低下にならないように、旧市町村の窓口整備をすること。山林、里山の保全、拡大により自然環境の充実を図ること。郡部の道路整備。乱開発の抑制。中心市街地の計画的な整備。合併後も市議員以外の住民の意見を聞く場の設定、制度化。(一志町)
- ・合併に反対。住民投票をしてから決めるべきである。(津市)
- ・広域の合併は、ますます都市部だけが栄え、過疎の地域は捨てられていく合併は反対です。(美杉村)
- ・合併後は住民一人一人が合併して良かったと感じるような地域特色を生かしたような行政指導をお願いする。(美杉村)
- ・町としての最も重要である事は町民一人一人がどのようにしていけば合併においてより良い暮らしが出来ていくのかである。(芸濃町)
- ・市町村合併がこれまで以上に各市町村の発展につながるものであってほしい。下水道の整備について、合併後早急に議論・改善してほしい。(河芸町)
- ・栄養の面からみて学校給食はとてもいい。(安濃町)
- ・合併により住民の負担がどう変わるのか、市町村別、項目別で明確に示してほしい。職員の給与が合併により自動的に上がることは絶対に許されない。(久居市)
- ・職員を減少させ給料を低下させること。ゴミ回収事業、津ポート職員、給食の職員など民間委託をさらに進める。(津市)

・新市の議員定数及び報酬については厳しく対処してほしい。(一志町)

・合併理由を市民にわかりやすく説明する。民でできることは民で官のコストは高すぎる。競争原理導入。企画、予算の透明化、広く市民に公開する。人件費、議員、職員を少なくし、予算に占める率を少なくする。部外者、公認会計士による会計監査の導入。(久居市)

・給食アレルギー対応の代替食実施と教育現場でのアレルギーに対する理解、学校間での等しい改善をお願いします。(津市)